

《交通政策課 太田課長説明》

【委員】 財政的支援が難しいために公共交通の維持が困難な状況となっているのか。

【交通政策課】 財政的支援の問題ではなく、事業者の運転手確保が難しいことが最大の要因です。運転手不足により事業者側が現在ある路線を確保していくことが難しいので、今後、運行本数が減ったり、路線の廃止等につながることを懸念されています。

【委員】 高齢化に伴い、運転免許証の返還もあり、今後バスを利用される人が増えると思う。今後バス利用客が増えれば、バス路線が確保できるのか

【交通対策課】 乗って守ろうという意識を持ってもらうことが第一前提ですが、現状、ほとんどの路線が赤字となっています。運転手不足の問題もあり、バス事業者は収益性の低い路線から廃止・縮小を検討すると思われます。バス路線の維持・確保のため、バスを利用しようという機運を地域を挙げて盛り上げていただきたいと思っています。また、バス事業者だけでは交通手段を確保していくのが難しい状況ですので、地域で運行するなど役割分担をしながら別の体系を作って交通を確保していくことが大切だと感じています。

【委員】 中学生の通学については保護者が送迎しているので、中学生のバスの利用の促進が出来たら。廃止ではなく存続に向けて話をもって行きたい。

【委員】 定期的に浜村一青谷線の乗り合いタクシーを利用されている障がいのある方もいらっしゃるのでは是非バスの運行を存続して欲しい。

【委員】 住民がバスを運行するのに関して、必要な免許や補助等についてはどうか

【交通政策課】 地域の方が有償運送をされる場合で普通自動車を利用される場合は、通常的一种普通免許証で大丈夫ですが、講習を受けていただく必要があります。鳥取市では、NPO法人等で有償運送を取組まれた場合、上限がありますが自動車の購入費用10割、運行費用の8割までを補助する制度があります。残りの2割部分を運行収入や他の事業の収益等での補填できるような地域での取り組みが必要となります。

【委員】 自家用車で走っている人はたくさんいるので、その自家用車を利用してクーポンとかアプリを使うような運行システムを作り、個別に対応出来たらいいと思う。

【委員】 単一的な運行ではなく、病院に寄ったり、運動や買い物ができるようなバスを利用して楽しくなるような魅力ある運行の工夫が必要だと思う。

【委員】 現状を周知してみんなが危機感を共有し、今後の対応について地域で話し合っていくことが大切だと思う。

(2) 統合前の簡易水道給水区域の整備計画について (資料2) P9~P13

《鳥取市水道局西地域水道事務所 中島所長説明》

【委員】 整備計画についての住民説明等がありますか？

【水道局】 具体的なスケジュールが決定次第、お知らせする予定です。

【委員】 安定した供給が難しい施設もあると思うので、施設整備を早く行っていただきたい。

【水道局】整備計画の中には老朽化した施設もありますので、危機感を持ってなるべく早く整備を行うよう努めます。

(3) 鳥取市新市域振興ビジョン推進計画 進捗状況 (資料3)

P14～P15

(事務局説明)

【委員】青谷中央広場整備で懸念されていたトイレ設置はどうなるのか

【事務局】整備計画の中にトイレの設置はありませんでしたが、設置の要望がありましたので、青谷地区公民館のトイレを外側から出入りできるよう改造するために、予算要求を行っているところです。

【委員】ガイドネットワークの組織体制やガイドの人数についてはどうなっているのか

【事務局】ガイドネットワークの事務局はあおや郷土館となっています。構成メンバーには観光協会も含まれ、人数は6～7名と聞いています。また、ガイド依頼がどの程度あるのかは、把握していません。

【委員】いきいきサロンと老人クラブの交流などはあるのか。

【事務局】いきいきサロンと老人クラブは社会福祉協議会が窓口となっています。それぞれ別の組織となっています。

【委員】老人クラブでできない部分をいきいきサロンでカバーしていると感じています。いきいきサロンは民生委員さんが主体となって組織を立ち上げられた経過があり、活動内容も構成メンバーも各集落で違います。高齢者の方が地域でつながりを持つような活動をする組織がいきいきサロンだと思っています。

【委員】任意の加入なので老人クラブに入る人が少ないように思う。

【委員】世話人がいないので、老人クラブが休会状態となっている集落もあります。集落の外まで出かけての付き合いはしないが、集落内での活動をするいきいきサロンには入っている方もいらっしゃいます。

【委員】安心ホットラインの今年度登録件数は。

【事務局】登録件数は2件です。安心ホットラインは、65歳以上の一人暮らし高齢者または高齢者のみの世帯の方が利用できます。

その他

○事務局より 青谷上寺地遺跡ボランティア講座受講申し込みについて

【委員】ボランティア養成講座の講師はどうなるのか

【事務局】埋蔵文化財センター青谷調査室職員・青谷上寺地遺跡展示館職員・精通された講師、接遇研修講師等を予定しています。将来的には、青谷上寺地遺跡だけでなく青谷町内のガイドの育成を目指しています。

【委員】募集案内を、青谷高校生を含めた高校生、鳥取大学生、公立鳥取環境大学生等にも配布できたら。

【委員】小学生や中学生がボランティアガイドとして参加できるような別の企画を考えてみてはどうか。

【委員】青谷町は、青谷上寺地遺跡や日本遺産に登録された北前船寄港地でもあるので歴史側面・観光的側面から県内外の大学と連携し、青谷町を「交流の町青谷」としてPR出来たらいい。

○その他意見等

【委員】青谷中央広場、JR青谷駅前整備等について、何度か支所だよりには掲載されたが、知らなかったという人もある。紙面だけでなく、地区の総会等を利用して直接具体的に説明していただけるような機会があればと思う。

【委員】年間の事業について、日程調整をしていただき、事業が重ならないように配慮していただきたい。

【委員】台風24号関係で、長尾鼻遊歩道周辺や広域農道等通行止めとなっている箇所もある。今後の予定はどうなるのか。

【事務局】土砂崩れによる長尾鼻遊歩道の通行止めについては、土地所有者の国と連携を取りながら復旧に努めていきます。

【委員】広域農道の復旧のメドについて教えて欲しい

【事務局】完全に道路が崩落している箇所があり、国の災害査定（11月～12月）を受けた後となりますので、工事は夏以降となる予定です。